

ICSICT2020 の発表成果報告書

感想文

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻

電子情報・数理教育プログラム

令和2年11月12日

学生： チャンミンチー

学籍番号： T182D002

出席会議名称：「15th IEEE International Conference on Solid-State and Integrated Circuit Technology (ICSICT2020)」

会議期間：2020年11月3日 ～ 2020年11月6日(バーチャル会議)

発表論文：

- ①Design Of Sixth-Order Passive Quadrature Signal Generation Network Based On Polyphase Filter (Nov.5 11:15)
- ②Measurements Of Self-Loop Functions In High-Order Passive And Active Low-Pass Filters (Nov.5 14:30)
- ③Design Of Lc Harmonic Notch Filter For Ripple Reduction In Step-Down Dc-Dc Buck Converter (Nov.5 14:45)

ICSICT-2020 会議は、ソリッドステートおよび集積回路技術の最近の進歩についてのプレゼンテーションとディスカッションのための国際フォーラムを提供することを目的としたシリーズの15回目です。学会名にある通り、回路設計や信号処理や通信システム分野の研究成果を発表し合い、研究をより有意義なものとするのが目的です。

(<http://www.icsict.com/> から引用して和訳)

会議は11月3日から6日にオンライン仮想会議で開催されました。新型コロナウイルスの影響で、ビデオを用いたWeb開催となりました。学会の発表形式として、各講演では15分（質疑応答12分）での発表でした。

私はAnalog Circuit 3やAnalog Circuit 4というセッションで発表しました。基調講演や他大学の方の発表を聞くことができ、専門分野についての理解を深めるとともに、他分野への視野を広げました。留学生にとって、この国際の学会発表経験は一生の宝です。この会議に参加できたおかげで、一流の研究者との交流ができ、最先端情報が得られました。半導体回路設計技術の知識が必要だと思います。今後、自分の専門分野の知識を学んで、理解を深めるとともに、英語と日本語能力を高めていきたいです。

今回中国学会に参加して様々なことを学び、そして力不足な部分を感じました。それらを補うために勉学に励み、研究活動に勤しんでいきたいです。

学会を紹介して頂き、学会準備から普段の研究までご指導頂いている小林春夫先生及び桑名杏奈先生。そして、研究指導頂いた小堀先生と谷本先生に感謝を申し上げます。

中国国際会議に参加させていただき、どうもありがとうございました。この国際会議で得られた知識は本当に役立ちました。

